



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(財)日本友愛青年協会
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文京ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-mail:yuai@qj8-so-net.ne.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

発行人：川手正一郎

編集人：鶴巻克雄

隔月1回 10日発行

購読料

年額 3,000円

財団法人日本友愛青年協会

移行認可決定！

四月一日新法人登記

一般財団法人日本友愛協会誕生

日本友愛青年協会は、五十年に一度といわれる公益法人法の改正を受け、検討委員会を立ち上げその形態を模索してきた。理事会において、一般財団法人への移行を決定し、定款等作成委員会に於ける定款の作成、数度にわたる評議員会、理事会の開催など多くの行程を経て十二月三日申請書の提出に至った。この度内閣府より、移行申請が認可されたとの連絡を受け、正式に移行が進むこととなった。検討委員会委員長として、また定款等作成委員会委員長として、尽力してこられた鶴巻克雄常務理事にそれまでの経緯を語っていただいた。これを掲載し、移行までのご報告としたい。

移行決定を受けて

平成二十三年二月十六日、内閣府から一般財団法人日本友愛協会への移行申請が承認された内示があった、と事務局から電話連絡があった。

平成二〇年一月に(財)友愛の事務所に公益法人協会専門相談員上曾山氏をお招きして平成十八年五月に国会で可決された「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律」、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する

法律」の公益法人改革についてのお話を伺った。明治二十九年に制定された民法による社団法人や財団法人を許可する主務官庁制をやめて法人格を取得しやすくし、民間による公益活動の拡大を図ることを目的としたとされている。社会では官僚の法人への天下り、法人を利用して高額な退職金を数箇所から受け取る「渡り」、助成金、補助金などの受け皿法人によるマネーロンダリングとも見える丸投げなど、果ては何をしていいのかわからない法人や、休眠法人の存在、法人の売買まであって反社会的な行為に法人が関与しているなどのことが人々の

平成二十一年六月の第一回から平成二十三年三月まで作成委員会は十九回、小委員会が七回開催された。

この間に手分けして各団体が主催するセミナー、文部科学省の主催する説明会等に出席し、理解を深めながら、定款第一章 第一条から第十一章第六十四条に補則が加わった定款(ページ数にしてA4版で十八ページ、現行寄付行為は第一章補則まで四十三条、A4版で一〇ページ)の案を作成した。

同時進行で新定款案に基づき、現在行っている公益事業とその他事業とに区分けし、現有資産で公益事業を行った場合、何年間で零になるかを、公益目的の支出計画を作成し計算した結果、平成三十八年三月三十一日となった。

(今後十五年間は主務官庁であった文部科学省の監督も受ける、その後の活動は法に触れない限り自由な活動を行える)

1) 最初の評議員選考委員会設置規程

2) 経理規程

3) 会員に関する規程

4) 評議員選考委員会規程

5) 役員報酬並びに役員、評議員の費用に関する規程

6) 評議員会運営規程

7) 理事の職務権限規程

た。これらの膨大な作業を終え、内閣府には平成二十二年十二月三日に申請した。その後平成二十三年一月二〇日に内閣府公益認定委員会事務局へ出頭して申請書類の不備を指摘され、修正を行い、此れで後は認定を待つばかりと一安心していた。

ところが、二月に入ってから文部科学省から電話で、「軽井沢の山荘事業は公益事業として申請しているが当方は収益事業と考える。」と当財団の根幹を揺るがすようなことが伝えられた。

三、四年前当財団に文部科学省からの検査が入り、その際、山荘事業には収益部分があるはずだから、予算、決算ではその区分は分離して計上するようにとの指導がなされ、二年間ほど予決算にそのような計上を行ってきた。この問題は内部でも論争の種となっていた。新法人移行で継続事業(公益事業)とその他事業とに仕分けをし、二十二年

度予算で一〇〇%公益として計上するためには予決算項目を変更しなければならぬ。文部科学省に担当官を訪問して財団設立の歴史の意義などを説明、了解を得ていたのに。

翌々日に再度文部科学省から「前任者と連絡が取れ、了承していたのがわかりました。継続事業として認めます」と入電があったと聞いたとき、どなたにも理解されないだろうと思っただけの安堵感。

記憶力、視力、耐力の衰えた身にとってこの三年間は長かった。時に疲れ、嫌気を覚え、投げ出そうと考えた。そんな時、何度つぶやいたことか。

官僚の天下りも、政府からの助成金も受けていない財団がなぜ同じ扱いを受けないか。こんなことをやっている間は本来の事業に当てるエネルギーをそがれてしまうんじゃないか!

この仕事が終わったのは検討委員会、定款等作成委員会の委員として仲間が協力してくれたから出来たのだ。評議員、理事の皆さんも臨時の会合に何回も呼び出されても協力をして下さった。

その上、太田達男理事長をはじめ公益財団法人、公益法人協会の皆様には、最もお忙しいときであるにもかかわらず資料の提供から始まって素人集団に対して優しくご指導下さったことに、どのようにして感謝の思いをお伝えしたらよいのかその術を知らない。

これで終了、ではない。鳩山一郎先生が提唱された「友愛」そのものであるから、法人の形態がどのようなものか、友愛は変わるものではない。▼大正、昭和、平成と生きてきた編集子であるが、友愛青年同志会、日本友愛青年協会、日本友愛協会とこちらも三代を見届けることができた。長生きもまんざら悪いものではないのかも知れない。新法人の門出に、心からのエールを贈りたい。

▼一年前のこの欄では「三月弥生、別れの時期といわれる」と書き始めた。一年後の本号は、正に別れの号となった。日本友愛青年協会が発行する『友愛』としては、最後の号である。▼

思えばかなりの年月を、『友愛』と過ごしたことになる。その間に、機関誌「ゆうあい」も発行され、編集子はこれにも携わった。年月の推移は、様々なことをもたらす。▼しかし

「友愛」がなくなる訳ではなく、新法人に移行後も「友愛」は続けられるようだ。新法人では、継続的公益事業として、友愛の理念を伝える、情報発信事業を掲げている。力強い思いがする。さらに現代では、ホームページなど電子的情報公開も可能である。充実した「友愛」紙面、親しめるホームページの公開を期待して止まない。▼昨年も

別れの時は、新しい出会いの時でもあると書いた。今まさにその時で、法人の形態を変え、新しく出発する「一般財団法人日本友愛協会」と出会えるのである。根幹に流れる理念、思想は、

鳩山一郎先生が提唱された「友愛」そのものであるから、法人の形態がどのようなものか、友愛は変わるものではない。▼大正、昭和、平成と生きてきた編集子であるが、友愛青年同志会、日本友愛青年協会、日本友愛協会とこちらも三代を見届けることができ

た。長生きもまんざら悪いものではないのかも知れない。新法人の門出に、心からのエールを贈りたい。

た。この膨大な作業を終え、内閣府には平成二十二年十二月三日に申請した。その後平成二十三年一月二〇日に内閣府公益認定委員会事務局へ出頭して申請書類の不備を指摘され、修正を行い、此れで後は認定を待つばかりと一安心していた。

ところが、二月に入ってから文部科学省から電話で、「軽井沢の山荘事業は公益事業として申請しているが当方は収益事業と考える。」と当財団の根幹を揺るがすようなことが伝えられた。

三、四年前当財団に文部科学省からの検査が入り、その際、山荘事業には収益部分があるはずだから、予算、決算ではその区分は分離して計上するようにとの指導がなされ、二年間ほど予決算にそのような計上を行ってきた。この問題は内部でも論争の種となっていた。新法人移行で継続事業(公益事業)とその他事業とに仕分けをし、二十二年

度予算で一〇〇%公益として計上するためには予決算項目を変更しなければならぬ。文部科学省に担当官を訪問して財団設立の歴史の意義などを説明、了解を得ていたのに。

翌々日に再度文部科学省から「前任者と連絡が取れ、了承していたのがわかりました。継続事業として認めます」と入電があったと聞いたとき、どなたにも理解されないだろうと思っただけの安堵感。

記憶力、視力、耐力の衰えた身にとってこの三年間は長かった。時に疲れ、嫌気を覚え、投げ出そうと考えた。そんな時、何度つぶやいたことか。

官僚の天下りも、政府からの助成金も受けていない財団がなぜ同じ扱いを受けないか。こんなことをやっている間は本来の事業に当てるエネルギーをそがれてしまうんじゃないか!

この仕事が終わったのは検討委員会、定款等作成委員会の委員として仲間が協力してくれたから出来たのだ。評議員、理事の皆さんも臨時の会合に何回も呼び出されても協力をして下さった。

その上、太田達男理事長をはじめ公益財団法人、公益法人協会の皆様には、最もお忙しいときであるにもかかわらず資料の提供から始まって素人集団に対して優しくご指導下さったことに、どのようにして感謝の思いをお伝えしたらよいのかその術を知らない。

これで終了、ではない。鳩山一郎先生が提唱された「友愛」そのものであるから、法人の形態がどのようなものか、友愛は変わるものではない。▼大正、昭和、平成と生きてきた編集子であるが、友愛青年同志会、日本友愛青年協会、日本友愛協会とこちらも三代を見届けることができ

た。長生きもまんざら悪いものではないのかも知れない。新法人の門出に、心からのエールを贈りたい。

た。この膨大な作業を終え、内閣府には平成二十二年十二月三日に申請した。その後平成二十三年一月二〇日に内閣府公益認定委員会事務局へ出頭して申請書類の不備を指摘され、修正を行い、此れで後は認定を待つばかりと一安心していた。

ところが、二月に入ってから文部科学省から電話で、「軽井沢の山荘事業は公益事業として申請しているが当方は収益事業と考える。」と当財団の根幹を揺るがすようなことが伝えられた。

三、四年前当財団に文部科学省からの検査が入り、その際、山荘事業には収益部分があるはずだから、予算、決算ではその区分は分離して計上するようにとの指導がなされ、二年間ほど予決算にそのような計上を行ってきた。この問題は内部でも論争の種となっていた。新法人移行で継続事業(公益事業)とその他事業とに仕分けをし、二十二年

度予算で一〇〇%公益として計上するためには予決算項目を変更しなければならぬ。文部科学省に担当官を訪問して財団設立の歴史の意義などを説明、了解を得ていたのに。

翌々日に再度文部科学省から「前任者と連絡が取れ、了承していたのがわかりました。継続事業として認めます」と入電があったと聞いたとき、どなたにも理解されないだろうと思っただけの安堵感。

鶴巻 克雄

(財団法人日本友愛青年協会常務理事・検討委員会委員長・定款等作成委員会委員長)

第十七次植林訪中実施

湖北省シキ県三峡ダム生態緑化事業完了

中華人民共和国国家林業局
より榮譽証書授与される
日中緑化交流基金
六〇〇ha余に植樹実施
環境保全・経済振興に貢献

二〇〇五年より六年計画で進められていた「日中青年湖北省シキ県生態緑化プロジェクト」は、今回の第六期を以て完了した。

本協会が担当したのは、第一期の九〇ヘクタールに始まり、第二期以降第六期まで各一〇〇ヘクタール、

雪害による補植を含め、計六〇〇ヘクタール余の面積に及ぶ。湖北省シキ県は、長江(揚子江)上流に位置し、国家プロジェクト三峡ダムを有する。このため約百万人が移住し、新たな市が形成されているが、内陸にあるため経済的な活動は活発といえず、環境保全、治水のための植林は、県の中華人民共和国国家林業局・日中緑化交流基金よりの榮譽証書



2005年第一期着工当時の記録。三峡ダムもかたがみえてきたという状況だった



特産物であるオレンジを植え付け、同時に経済活動の活性化をも促す効果をもたらした。



2006年第二期 この年から地元の最大の産業である柑橘系の樹木を植えるようになった



平成二十二年十二月十二日(日)十五日(水)の予定で、第十七次植林訪中名産品の一つ「銘石」で造られた植樹記念碑の前で記念撮影



2007年第三期 険しい傾斜の斜面に、特産品ミカン、オレンジの木を沢山植えた



第一期(友愛第九次植林訪中)当時は、三峡ダムも形が見えてきたところだった。訪中団は、三峽ダムも「木々が大きく育ち日中友好も大きく育つ」と力強く。川手団長



2008年第四期 昨年植えたオレンジの木が、この地には希な雪のため凍みってしまった。補植を行う



第二期、雨の中植林現場に向かう。途中既植林地を視察。昨年、一昨年植えたオレンジも大きく育ち、収穫できるまでになっているという。現場で植樹に参加の子供達から手渡されたオレンジは、瑞々しく、香り



2009年第五期 一昨年に植えた木々からの収穫をみせていただいた。おいしいオレンジだった



生憎の雨の中、整列して式典に臨んだ現地近隣の小中学生たち

変わらないのは、植林を担当してくださった現地カウンターパートの方々のかい心配りと、木々保育への熱心さである。韓林さんを中心に、実務に当たる方々、卒業生を軸に、植林地の統括をしている政府の方々。皆さん旧友に会ったように、親しげに歓迎してくださいました。

二日目、雨の中植林現場に向かう。途中既植林地を視察。昨年、一昨年植えたオレンジも大きく育ち、収穫できるまでになっているという。現場で植樹に参加の子供達から手渡されたオレンジは、瑞々しく、香り豊かだ。現場には、第一期から第五期までの行程が、大きなパネルになって掲示されている。一枚一枚眺めるにつれ、感慨無量である。「友愛」の思いを軸に、六年間継続してきた成果を目の当たりにすることが出来た。人と人の絆が実を結び木々が育ち、日中友好を大きく育てることを確信して、第十七次訪中を終えた。再見! (羽中田 記)

新法人移行に伴う会員制度改正 会員登録のお願い

同封ハガキをご活用ください

一面記事でご紹介しましたとおり、財団法人日本友愛青年協会は、公益法人法の改正を受け、四月一日より「一般財団法人日本友愛協会」として新たに発足致します。

法令的には、現財団を解散し、新たに一般財団法人として登記し、出発するという過程をたどります。

このため現在会員として登録いただいている方々にも、新法人への再登録が必要となります。

現在会員登録をいただいている方、また賛助会員として登録いただいている方々にはご面倒をお掛けいたしますが、この「友愛」五一〇号に同封されている「会員申し込みハガキ」にご記入いただき、事務局宛お送りくださいますようお願い申し上げます。

(切手は不要です)

申込書が届きましたら、事務局より、皆様方に会員規程、会費振り込み用紙などをお送りいたします。

* 四月一日より新法人が稼働いたします。振込先の設定など、事務処理に若干の日数を要しますので、ハガキをご返送いただけます関係書類がお手元に届くまで日数がかかる場合があります。悪しからずご了承ください。

http://yuukai.com

会員登録を是非! 日本友愛協会は、公益法人としてこれからも活動を続けて参ります。

本協会の主旨にご賛同いただき、会員として支えてくださる方を広く募っております。多くの方にご参加いただけるよう、年会費を二千円といたしました。

この機会に会員としてのご登録をお願い申し上げます。

新しく会員としてご登録をご希望の方は、この「友愛」五一〇号に同封されている「会員申し込みハガキ」にご記入いただき、事務局宛お送りくださいますようお願い申し上げます。

(切手は不要です)

* 会員の方には、本紙「友愛」(年六回発行)をお届け致します。また、新法人の継続公益事業の一つである「軽井沢友愛山荘」を、会員料金でご利用いただくことができます。(友愛山荘の料金表は三面に掲載)

* 会員制度に関してのご質問は、お気軽に事務局までお問い合わせください。

* 財団法人日本友愛青年協会のホームページ(四月一日よりアドレス変更。現在のアドレスでもアクセス可能)からも、本協会の活動の詳細をご覧いただけます。—新アドレス左記—

「核なき世界」は「友愛精神」で

鳩山由紀夫理事長

核禁会議50周年式典で「平和と友愛」を語る



去る一月二十八日、「いかなる国の核兵器にも反対」「特定の政治勢力からの支配介入の排除」「人道主義に基づく活動」を三原則とし、また「核兵器を廃絶し、世界の恒久平和を確立しよう」と「原子力の平和利用を推進し、人類の平和と繁栄に寄与しよう」をスローガンとする「核兵器禁止平和建設国民会議50周年記念式典」に、同会議結成以来の同志・団体を代表して、鳩山由紀夫理事長が挨拶を述べた(「核禁会議」の議長代行は、本協会評議員でもある、谷藤悦史早大教授)

鳩山一郎会長と友愛・平和 とも報じている。

鳩山理事長は、「祖父・一郎が、一九四五年九月に『原爆による無辜(むご)の国民殺傷が毒ガス以上の戦争犯罪(国際犯罪)であることを否定できない』と発言し、それをGHQが『怒り』、朝日新聞が二日間発行停止になった」ことなども公職追放の大きな理由の一つであり、いわば、その結果として「友愛青年同志会」が生まれ、祖父・一郎の平和に懸ける想いがこの「核禁会議」の活動に関わることになったのである」とエピソードを挙げ、かつ「今日まで、その仲間・同志にしていたいたこと」に心から感謝する旨を述べた。

併せて、総理時代を振り返りながら、「オバマ大統領が(ブラハで)演説した『核兵器のない世界』を実現することは、唯一の被爆国である我が国の道義的使命であり、各国に核廃絶を訴えることが肝心である」と述べた。(ちなみに、二〇〇九年九月二十四日の朝日新聞は「核廃絶『日米先頭に』鳩山・オバマ会談」と報じ、翌二十五日は、核廃絶へ安保理決議・鳩山首相「非核三原則堅持誓う」

「核なき世界」・被爆者救済と友愛精神 、「核禁会議」が、結成以来続けてきた被爆者救済カンパ活動(これは国内の被爆者のみならず、韓国の被爆者の救済活動も行ってきた)に、現在までに十三億五千万円を超える額が寄せられている)についても、鳩山理事長は敬意を表しつつ、自身も(総理時)「被爆者の早期救済のため、議員立法の具体化の動きも踏まえ、新しい認定制度の創設を検討したい」と述べた、とも語った。「核なき世界」を作るためには、「友愛精神」が、今日ほど必要とされている時代はない、とその決意も披瀝した。加えて「この核禁会議が『結成五〇周年おめでとうございませう』というのも、実は残念なことであり、ましてや、あと五〇年も続くなどということがあつてはならないのであつて、一日も、一刻も早く、核兵器を廃絶し、真の世界平和を構築しなければならぬ」と、北朝鮮、イランをはじめとする容易ならざる核の現況の認識も示した。

安心・安全が大前提で、原子力の平和利用 同時に「地球温暖化に代表される環境問題や、エネルギーの安定確保の観点から、原子力発電が世界的に見直されているが、その地球温暖化の進展を緩和するために、大気中の温室効果ガスの削減に地球規模で取り組むべきである。但しそれはあくまで、安心・安全が大前提での原子力エネルギーの平和利用でなければならぬ」とも述べた。

記念式典は、その後、UIゼンセン同盟の落合清四会長の挨拶、また、長崎の田上富久市長と大韓赤十字社の姜文総務課長による感謝の言葉と祝辞、さらには、秋元かおるUIゼンセン同盟副書記長による詩の朗読があつた。その一部を記載する。

生きたい 生きたいと
黒い雨を飲んでしまった人々
熱い熱いと 火だるまのよう
川に飛び込んだ人々
悲しい 現実
家が 人々が 動物たちが
すべての物が 飛び散つて
虫けらみたいに
泣いて 苦しんで はいず
いまなお引きずっている被爆者たち 以下略
(広島原爆ドームより「未来の子供たちへ」渡辺真知子)

「友愛」は「核禁会議」の結成時からの同志 なお、「友愛」(当時は「友愛青年同志会」)は、冒頭で鳩山理事長が述べたように、一九六一年十一月十日の「核禁会議」(初代議長・松下正寿立教大学総長)結成以来の、「同志」である(結成大会は、日本青年館)。詳細は省くが、いわゆる「第5福竜丸のビキニ水爆被災事件」(一九五四年三月、太平洋ビキニ環礁でのアメリカの水爆実験で放射能(死の灰)を浴び、久保山無線長が九月に死去)で原水爆禁止運動が広がった。しかし、その当時は、共産党が主導権(原水協)を握り「資本主義陣営の原子爆弾は戦争のための『汚い兵器』で、社会主義陣営の原子爆弾は『きれいな兵器』だ」などという偏ったイデオロギー運動になつていたのである。

「核禁会議」と、その活動 その「歴史」に立って、具体的な運動としては(上述の基本理念を踏まえて)、例えば、広島「平和の灯火」、長崎の「平和の泉」などの建設、「ヒロシマ・ナガサキ平和大会の共同開催」、海外での原爆資料展の開催(パリ、インド、パキスタンなど)、核拡散防止条約(NPT)再検討会

議でのアピール、核兵器廃絶を求める署名活動、原子力の平和活動のための関係施設見学、シンポジウムの開催などを行つていく。もちろん、その間、被爆者への救済活動は行つており、例えば、広島赤十字原爆病院あるいは長崎「恵みの丘原爆ホーム」へのカンパ、韓国慶尚南道陝川(ハプシヨン)に、原爆被爆者診療センターの建設などを行つていく。

「友愛精神」と「世界平和」 核禁会議の結成時には、奥田吉郎氏(現・理事)が総務部長に、故尾形智矩氏が事務局次長に就任し、運動の中心となつていった。尾形氏は「核兵器が全面的に禁止され、この運動の必要がない平和な世界を一日も早く作らなければならぬ」と機関紙「友愛」(第一〇八号・一九六二年三月)に寄稿している。その後も今日に至るまで、本協会も他の団体と手を携え、積極的に活動している(現在は、評議員の萩原が理事を務めている)。

しかし、鳩山理事長が指摘されたように、依然として、世界は核の脅威と恐怖は拡大していると言つても過言ではない。それだけに、今こそ、友愛精神をもつて、平和な道を確立していくべきであると(今回の記念式典に出席して)、あらためて、その思いを強く文責..

日本友愛青年協会評議員 萩原直三

「核なき世界」・被爆者救済と友愛精神 、「核禁会議」が、結成以来続けてきた被爆者救済カンパ活動(これは国内の被爆者のみならず、韓国の被爆者の救済活動も行ってきた)に、現在までに十三億五千万円を超える額が寄せられている)についても、鳩山理事長は敬意を表しつつ、自身も(総理時)「被爆者の早期救済のため、議員立法の具体化の動きも踏まえ、新しい認定制度の創設を検討したい」と述べた、とも語った。「核なき世界」を作るためには、「友愛精神」が、今日ほど必要とされている時代はない、とその決意も披瀝した。加えて「この核禁会議が『結成五〇周年おめでとうございませう』というのも、実は残念なことであり、ましてや、あと五〇年も続くなどということがあつてはならないのであつて、一日も、一刻も早く、核兵器を廃絶し、真の世界平和を構築しなければならぬ」と、北朝鮮、イランをはじめとする容易ならざる核の現況の認識も示した。

「核なき世界」・被爆者救済と友愛精神 、「核禁会議」が、結成以来続けてきた被爆者救済カンパ活動(これは国内の被爆者のみならず、韓国の被爆者の救済活動も行ってきた)に、現在までに十三億五千万円を超える額が寄せられている)についても、鳩山理事長は敬意を表しつつ、自身も(総理時)「被爆者の早期救済のため、議員立法の具体化の動きも踏まえ、新しい認定制度の創設を検討したい」と述べた、とも語った。「核なき世界」を作るためには、「友愛精神」が、今日ほど必要とされている時代はない、とその決意も披瀝した。加えて「この核禁会議が『結成五〇周年おめでとうございませう』というのも、実は残念なことであり、ましてや、あと五〇年も続くなどということがあつてはならないのであつて、一日も、一刻も早く、核兵器を廃絶し、真の世界平和を構築しなければならぬ」と、北朝鮮、イランをはじめとする容易ならざる核の現況の認識も示した。

「核なき世界」・被爆者救済と友愛精神 、「核禁会議」が、結成以来続けてきた被爆者救済カンパ活動(これは国内の被爆者のみならず、韓国の被爆者の救済活動も行ってきた)に、現在までに十三億五千万円を超える額が寄せられている)についても、鳩山理事長は敬意を表しつつ、自身も(総理時)「被爆者の早期救済のため、議員立法の具体化の動きも踏まえ、新しい認定制度の創設を検討したい」と述べた、とも語った。「核なき世界」を作るためには、「友愛精神」が、今日ほど必要とされている時代はない、とその決意も披瀝した。加えて「この核禁会議が『結成五〇周年おめでとうございませう』というのも、実は残念なことであり、ましてや、あと五〇年も続くなどということがあつてはならないのであつて、一日も、一刻も早く、核兵器を廃絶し、真の世界平和を構築しなければならぬ」と、北朝鮮、イランをはじめとする容易ならざる核の現況の認識も示した。

「核なき世界」・被爆者救済と友愛精神 、「核禁会議」が、結成以来続けてきた被爆者救済カンパ活動(これは国内の被爆者のみならず、韓国の被爆者の救済活動も行ってきた)に、現在までに十三億五千万円を超える額が寄せられている)についても、鳩山理事長は敬意を表しつつ、自身も(総理時)「被爆者の早期救済のため、議員立法の具体化の動きも踏まえ、新しい認定制度の創設を検討したい」と述べた、とも語った。「核なき世界」を作るためには、「友愛精神」が、今日ほど必要とされている時代はない、とその決意も披瀝した。加えて「この核禁会議が『結成五〇周年おめでとうございませう』というのも、実は残念なことであり、ましてや、あと五〇年も続くなどということがあつてはならないのであつて、一日も、一刻も早く、核兵器を廃絶し、真の世界平和を構築しなければならぬ」と、北朝鮮、イランをはじめとする容易ならざる核の現況の認識も示した。

「核なき世界」・被爆者救済と友愛精神 、「核禁会議」が、結成以来続けてきた被爆者救済カンパ活動(これは国内の被爆者のみならず、韓国の被爆者の救済活動も行ってきた)に、現在までに十三億五千万円を超える額が寄せられている)についても、鳩山理事長は敬意を表しつつ、自身も(総理時)「被爆者の早期救済のため、議員立法の具体化の動きも踏まえ、新しい認定制度の創設を検討したい」と述べた、とも語った。「核なき世界」を作るためには、「友愛精神」が、今日ほど必要とされている時代はない、とその決意も披瀝した。加えて「この核禁会議が『結成五〇周年おめでとうございませう』というのも、実は残念なことであり、ましてや、あと五〇年も続くなどということがあつてはならないのであつて、一日も、一刻も早く、核兵器を廃絶し、真の世界平和を構築しなければならぬ」と、北朝鮮、イランをはじめとする容易ならざる核の現況の認識も示した。

「核なき世界」・被爆者救済と友愛精神 、「核禁会議」が、結成以来続けてきた被爆者救済カンパ活動(これは国内の被爆者のみならず、韓国の被爆者の救済活動も行ってきた)に、現在までに十三億五千万円を超える額が寄せられている)についても、鳩山理事長は敬意を表しつつ、自身も(総理時)「被爆者の早期救済のため、議員立法の具体化の動きも踏まえ、新しい認定制度の創設を検討したい」と述べた、とも語った。「核なき世界」を作るためには、「友愛精神」が、今日ほど必要とされている時代はない、とその決意も披瀝した。加えて「この核禁会議が『結成五〇周年おめでとうございませう』というのも、実は残念なことであり、ましてや、あと五〇年も続くなどということがあつてはならないのであつて、一日も、一刻も早く、核兵器を廃絶し、真の世界平和を構築しなければならぬ」と、北朝鮮、イランをはじめとする容易ならざる核の現況の認識も示した。

思いあふれる地へ 小島芙美子
第二十一回友愛ドイツ歌曲コンクールで一位の栄誉に輝いた小島芙美子さんは、当財団派遣事業の一環として、ウイーンで開催されるコンサート(姉妹団体OJAB主催)出演のため日本を発つ。その抱負をここに紹介します。
コンサートは三月二十二日(火)モーツァルト・ハウスで開催される
三年半前の夏、私は音楽講習会を受けるため、初めてのヨーロッパで渡った地がウイーンでした。
また、昨年の夏まで、大学の交換留学で一年間学んだ地もウイーンでした。
私にとってこの地は、特別な思いがあふれる場所です。そしてなんと、私はその大切な地で、演奏会に出演するという、貴重な機会をいただけることとなったのです! 日本友愛青年協会の皆様には、このような素晴らしい機会を私にくださったこと、心からの御礼を申し上げます。
研修旅行では、きっと素敵な方々との出会い、そして音楽との出会いがたくさんあります。
この思いを、聴きにいらしてくださった方々に、演奏でお届けできたら幸甚に思います。

軽井沢友愛山荘 新料金表

個人利用料金	団体利用料金		
	5~9名	10名以上	
一般	10,000	8,000	7,000
会員	8,000	7,000	6,000
学生	7,000	6,000	5,500

*別室利用料金、会議室等設備利用料金など詳しくは事務局までお問い合わせください。
*ホームページにも詳細掲載 <http://yuaiyoukai.com>

友愛婦人会だより

友愛婦人会 新年会開催 一華やかに新春を祝う



にこやかに女子会長のお話をしてくださった鳩山由紀夫前総理大臣

藤井秘書、南秘書が代理としてご出席くださり、鳩山邦夫先生からのメッセージを伝えていただきました。

第一部は、鳥海大塚支部長が進行役を務めました。ご来賓の方々からそれぞれご挨拶を頂戴いたしました。が、とりわけ鳩山由紀夫先生が、鳩山安子会長の現在のご様子、お食事も少し進むようになられたこと、由紀夫先生をお叱りになることなどをお話くださいました。参加の会員一同、本当にうれしくお話を伺いました。前総理としてご活躍であり、海外へもしばしば公務でおいでになるお忙しさの中、私どもの会にご出席くださり、私達が一番お伺いしたい安子会長のお話をしてくださる細やかなお心くばりに、一同感激いたしました。

平成二十三年一月十二日(水) 東京目白の椿山荘ギヤラクシーの間において、恒例の友愛婦人会新年会が開催されました。

天気予報では、気温は十度前後とのことで、肌寒いながらも思いましたが吹いてくる風は南風で、近づく春を思わせる暖かさでした。

来賓として、鳩山由紀夫前総理大臣、成澤廣修文京区長、煙山力前文京区長がご出席くださいました。鳩山邦夫先生は、公務多忙とのことで、太郎さんもご出席いただけず、とても残念な思いがいたしました。

煙山前区長の乾杯のご発声で、会は第二部へと移りました。第二部の司会進行は、渡辺書記が務めます。美味しい料理、初春のうれしさに話題も尽きぬ和やかさが一杯です。そして、友愛婦人会の会員による十八番披露へと進んでまいります。詩吟「松竹梅」明石節子/小唄「吉座節分」黒沢芳子/日舞「白扇」/小室昌代と芸達者な舞台が続きます。



「友愛」の想いのもと、会員が一堂に会する喜び、楽しい集いは友愛婦人会の象徴

大川米子幹事長による、ユーモアあふれる閉会の辞を聞きながら、散会の時間となりました。大川幹事長が話されたように、来る新年度は、婦人会として前向きに、友愛精神・論語を勉強する年、学習の年にすべく、新年の誓いを新たにいたしました。(友愛婦人会記)

友愛ほんだな 番外編

クーデンホーフ・ミツコ没後70年記念 ミュージカル『MITSUKO』～愛は国境を越えて～



MUSICAL クーデンホーフ・ミツコ没後70年記念 MITSUKO 愛は国境を越えて

「ミツコ」という言葉から、何を連想するだろうか。香水の名を思う方もあるだろうが「友愛」読者は、迷わず「クーデンホーフ・カレルギー伯のお母さん」にたどり着くのではないだろうか。その「ミツコ」が再び舞台となった。今回は『MITSUKO』愛は国境を越えて」と題したミュージカルである。

作・演出は小池修一郎氏、宝塚歌劇団の舞台を手掛け、菊田一夫演劇賞、千田是也賞、読売演劇賞など数多くの賞を受賞している、斯界の第一人者である。音楽は、ブロードウェイ・ミュージカルを数多く担当し、幅広い活躍を続けるフランク・ワイルドホーン氏、ミュージカルとしてこれ以上は望めない組み合わせが実現した。ミツコを演じるのは宝塚歌劇団のOG安蘭けいさん、「ベルサイユのばら」で初舞台以来、星組男役トップスターとして活躍してきた。ファンにとっては、待ちに待った舞台であろう。

ミツコを軸に構成されている舞台ではあるが、決して華やかさと甘さだけのストーリーではない。パン・ヨーロッパを唱え続けたクーデンホーフ・カレルギー伯の活躍と理念が、ストーリーの根底にある。それはとりもなおさず「友愛」の理念と重なるものであり、相互尊重・相互理解・相互扶助の三原則が、教えとして、あるいは具現化された形として随所にちりばめられている。

オーストリアからの亡命者クーデンホーフ・カレルギーは、アメリカの大学で教鞭をとっている。そこに母ミツコが亡くなった知らせが届く。ショックな霧囲気中物語は始まる。ユダヤ人の妻を娶ったことで決別していた母、カレルギーは自らの半生を振り返り、母を懐かしむ。カレル

同時にオーストリア人として、気高く「後ろを振り返らずに前を向いて歩く」と子供たちを教育した。核となる軸となる理念のもとに作られた、大いに良質な物語といえる。また、家族が歌うナンバー「振り返らず歩

「友愛」の礎となった理念が数多く表現されている。ミツコは皇后陛下から賜った扇を胸に、日本人として、

時事川柳 服部迪夫 作
八百長が顔を出す
ケイタイに炙りだされるお相撲さん
春場所・中止
呼び鈴がむなしく響く浪花場所
前途多難
蜂の巣が大きくなった国技館
連日の報道
佑ちゃんが調味料になるキッチン
十二球団あるのに加熱する報道よそにキャンプリン

◆「友愛」の一つのかたちの最終号。手がける事の有り難さ。歴史を刻んできた機関紙。新法人でも名前を変えず「友愛」を発行する予定だとか。歴史は続く、頑張らなくては。頑張り甲斐があるから。あの暑い夏に、法人移行の為の書類を作り続けたのも、今は嬉しい思い出。(も)

◆本号で日本友愛青年協会発行の機関紙「友愛」は最終号となる。一九五三年から本年三月までの五八年間。友愛の歴史を物語った愛すべきこの機関紙。小生も折に触れ、駄文を弄したが、感無量。会創設以来、何度となくこの機関紙を組織拡大のため、都内はもとより東北の山村や、全国各地の都市、講演会や駅前広場、街頭等々、あらゆる場所で触れ合う人毎に手渡した青年時代の記憶は、今でも忘れられなく鮮明に残っている。考えてみれば、当時は携帯やメールもなく、組織拡大や情報伝達は、友人知己以外のルートとしては、この機関紙が唯一の武器であり、また会員同志の紐帯でもあった。そういう点から考えればこれから友愛が新しい時代を迎えられるのも、この機関紙を今日まで継続した関係各位のご協力の賜であり、心から敬意を表する次第だ。(K)

